



広報

加じき

全ご家庭に、もれなく配布

第119号

42. 1.23 発行

発行所 加治木町役場

発行者 曾木隆輝

担当者 向江巧

編集者 中元邦夫

印刷所 吉屋印刷



初春によせて

あけまして、おめでとうございます。どなたさまも、よい新年をお迎えになつたこととお喜び申し上げます。

昨年末の衆議院の解散によつて、新年そろそろ何かと、気ぜわしい一年のスタートになりました。

新たに成人式を迎えたかたも、おとなになつたことを自覚して、自ら強く生きぬこうと、各人新たな決意をいだかれたことと思います。

衆議院議員の総選挙から4月の地方統一選挙と、ことしは続きます。わたしたちの町から選

挙違反を出さないようにするとともに、違反行為の監視をしましょう。

わたしたちの郷土加治木も、教育施設、環境衛生、住宅、道路や橋と1年ごとに充実され、また上場地区の農業構造改善事業も軌道にのり新しい農業へ出発しました。

住みよい、豊かな町の建設に町民一体となつて、努力したいものです。

ことしも、ぜひ健康で、幸福な年でありませう、ともども祈念いたしましょう。

(写真は中野山頂から撮影)

年頭の「あいさつ」

町長 曾木隆輝



わたしたども公私とも大へんお世話になりましことを、厚くお礼申し上げます。昨年中、国の内外、いろいろな暗いことも起りました。しかし、過ぎ去つた不幸で、わさわい(禍)を転じて福とし得るものもありましようが、なかには取りかえしのつかぬものもありま。それにこだわつてもいたしかたのないことです。わたしたちは、ことしこそは、明るい希望に満ちた年であるようにと折りたたいものです。

国としても、政治、経済、外交とむづかしい問題をたくさんかか

えています。町としても、急に財政が明るくなることは考えられま。せん。総選挙について地方選挙が行なわれ、人心一新されます機に国政も進展して行くと思ひます。わたしたちの郷土を豊かな、明るい町とするための努力も方策も、今から打ち立てて懸命な取り組みをいたす所存です。なるべく多くのかたがたのご意向にそつ政治を、それは多少の無理は押し切つても、すすめて行かねばならぬと思ひます。加治木町も皆さまのお力添えて、今日まで時代におくれぬまでの進歩をつづけてまいりまし

た。

しかし、土木、農業、商業、教育、住宅、工場誘置と町は多くの問題をかかえた新年を迎え、行政は容易ならぬものを感じます。町民の皆さんと共に、町の発展のため、苦しみました楽しんでまいる所存ですので、どうぞご協力をお願ひいたします。

最後に皆さまのご健康とご多幸を心からお祈りして年頭のごあいさつといたします。

1月29日は衆議院議員

総選挙の投票日です

有権者としての心がまえを自覚しましょう

4年泣く政治に曇る選挙

こんどの衆議院議員の総選挙は「黒い霧」が、きつかけとなつて解散しただけに「金のかからないうきれいな選挙」をモットウに出発しました。

選挙のたびに各地で、選挙違反のことが報道されております。投票日が近づく、買収や供応の誘いの手が使われ勝ちです。

選挙違反は、ただ候補者側へのこの責任があるばかりではなく、違反行為に応じた有権者側にもあります。

わたしたち有権者の一票によつて大きく左右されます。政治への参加が与えられた、この機会に、義理、人情や買収、供応などの誘いの手にまどわされることのないよう、有権者としての心がまえを、じゅう分、自覚して投票しましょう。

△ 投票できる人

こんどの総選挙に投票できる人は、昭和四十一年十一月一日現在の永久選挙人名簿に登録されている選挙権のある、すべての人です。

△ 不在者投票もできます

選挙の当日、投票所で投票できない見込みの人(転出者、旅行中、滞在中、町外勤務者、歩行困難な人など)は、居住している市町村長の発行する「不在者投票の事由に該当する旨の証明書」をつけて申請すれば、一月八日から投票日の前日(一月二十八日)までに、町役場で投票できます。

△ 投票の時間

投票は、午前七時から午後六

時まで、ただし、ひなび公民館鎮守小学校投票所は、午後五時までに閉じております。

△ 開票時間

即日開票で、二十九日午後八時から町議事堂で開票します。

△ 最高裁判官の国民審査

この国民審査の目的は、憲法一五条に「公務員を選定し、及びこれを罷免(ひめん)する」国民の権利を裁判官にもおぼすことであり、憲法の精神に反する法運営をする裁判官を、国民の手でやめさせるための方法として制度化されたものであります。

△ 投票の方法

投票用紙には、審査をうける裁判官の氏名がくし引きで決まつた順に連記してあり、有権者はやめさせたいと思う裁判官にだけ、×印をつけることになっております。

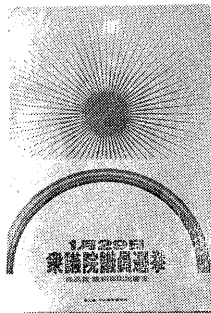
やめさせたくない人は、何も記入しないで、そのまま投票します。

やる気ならだれでもできる正しい選挙

良い政治あなたの手にある票にある

し尿処理場職員募集

- 職種・人員 電気技術者 一名
- ポイラー技術者 一名
- 応募資格 学歴不問。20歳以上7歳未満の男子
- 給与 加治木町役場職員に準ずる。
- 受付期間 二月一日から二月十五日まで。
- 試験日時・場所 追つて通知します。
- 希望者は履歴書一通を町役場福祉課係へ提出ください。



一般予算 三億五千二百六十六万円

昭和四十年決算認定

定例第4回町議会

定例第四回町議会は、二月十六日から二十七日まで、十一日間にわたって開かれ、昭和四十一年度一般会計と、上水道国民健康保険の各特別会計補正予算をはじめ、町税賦課徴収条例の一部改正、昭和四十年一般会計、上水道、国民健康保険の特別会計歳入歳出決算の認定等を議決しました。その主なものは、次のとおりです。

決算関係

一般会計第四回補正予算
今回の一般会計補正予算は、六十七万三千円で、主なものは、児童福祉施設建設費（町立小山田保育所備品購入費ほか）九四万円、甘しょ栽培合理化推進実験集落設置事業費（ホイルトラクター購入費ほか）二七五万円、道路新設改良費（し尿処理取付け道路）四六〇万円、農業構造改善事業費（補助事業決定による減）八三三万円等で、一般会計の累計は、三億五千二百六十七万円となります。

上水道特別会計

補正予算八四万五千円で、量水器設備費（メーター購入および修理）二八万五千円、委託工事費（材料代）二〇万円その他で累計一千七四六万二千円となります。

国民健康保険特別会計

補正予算二八万五千円で、一般管理費一三万円その他、累計は四千七一九万五千円となります。

予算関係

昭和四十年一般会計、上水道特別会計、国民健康保険特別会計の決算は、監査委員会の審査を受けた後、議会で提案されることになっております。

議会では、十二月二十一日から二十四日まで四日間、決算特別委員会を設けて、決算書を検討した結果、適正な決算であると認め、昭和四十年一般会計、上水道特別会計、国民健康保険特別会計の各決算は認定されました。

各会計ごとの決算額は、次のとおりです。
一般会計
歳入（収入）二億七千九四五万

六千円、歳出（支出）二億六千一四三万八千円、差引き一千八百一十八万八千円となり昭和四十一年度へ繰越しとなりました。

上水道特別会計

歳入（収入）一千八百二十七万四千円、歳出（支出）一千七八五万円、差引き四二万四千円が昭和四十一年度へ繰越しとなりました。

国民健康保険特別会計

歳入（収入）四千七二〇万九千円、歳出（支出）三千七〇五万八千円、差引き一千一五万一千円となり、昭和四十一年度繰越しとなりました。

なお、決算の内容は広報かじき第一一三号（町の財政事情公表）に掲載しましたので、紙面の都合により、本号では省略します。

条例改正

町税賦課徴収条例の一部改正

町税の一部改正に伴って、町税賦課徴収条例の一部が改正されましたが、今回の改正では、退職所得のある納税者の住民税に対する負担感を除去するための改正であり、今までの退職所得の発生した翌年に課税する方式から、退職所得が発生した年、つまり、退職の年に課税されるようになったこととなります。

退職手当等を支給されるとき、所得税と同様に、住民税も源泉徴収されることになり、ことし一月一日以後に支払われる退職手当等から適用されます。四十一年中に退職手当等の支給を受けた方は、

機動力を強化

新消防車購入

町では、消防の機動力を、さらに強化するため、消防車一台（購入価格二三〇万円）を購入しました。

この消防車は、町内の皆さま方からいただいた四〇万円の寄付金と、国からの補助（六九万円）等を受けて購入したもので、さる十二月二十七日、消防庁倉庫で新消防車入魂式を行いました。

小山田保育所の建設すすむ

小山田に新しい町立保育所を建設中ですが、この工事は、工費三九〇万円、建物面積二四三



今までの方式で、ことしの住民税の課税対象となり、六月から納めることとなります。

住民税の申告期限が変更されました。毎年住民税の申告期限は、三月二十日までとなっておりましたが、今回の改正で、三月十五日までとなり、所得税の申告期限と同じになりました。

陳情

採択された陳情は、次のとおりです。

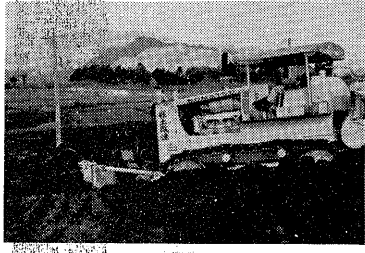
- 上東木、市来原間横断道路新設について
- 嶽線（竹下橋、桃木野口間）の道路舗装について
- 町道新設について（網掛川上流高井田間横断）

・一二平方メートルで、昨年の夏から大英建設ⅩⅩが工事をすすめております。完工は三月末です。

農業構造改善事業はじまる

農業構造改善事業は、県、熊本農政局の承認をうけて、今年度から三か年にわたって補助、融資事業をあわせて一億四千万円の額で実施することになり、本年度は西浦、市来原地区のほ場整備(区画整理)が計画されて、さる十二月八日甘しょの収穫を待つて、ブルドーザーのごう音とともに、広い台地で作業がはじめられ、けいはん(畦畔)をとりこわし、急傾斜をならし面目を新たにしようとしています。

両地区とも、養蚕を基幹作目として今後の管農類型をかえて、所得の増大にとりこんで、桑園の集団化と協業による産地形成を旨としています。



なお、近代化施設整備事業として、中郷、桃木野地区で養鶏の協業による産地形成をはかるための鶏舎づくりがはじめられ、今後の本町における養鶏経営のモデルとして、また畜産専門型として、管農の改善に努力をしています。

交通止めのお知らせ

構造改善事業による、ほ場整備のため、道風線(町道)は、一月十五日から三月三十一日までの間、車輛の通行止めをしますので注意してください。



成人と国民年金

むかしは、おとなの仲間入りは

元服であり、その後は徴兵検査でしたが、平和国家となった今日、成人式が一つの区切りとなったといえましよう。

「成人の日」は「おとなになつたことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝い励ます」日であり、この日には全国各地で、二十歳になり、おとなの仲間入りをした若人を祝い励ます成人式が催されました。

二十歳になると、社会的に、法律上の行為能力が与えられ、民法刑法などの法律の責任が課せられ選挙権が与えられます。国民年金に加入することもまた一つの義務です。

国民年金は、日本国内に住所を有する二十歳以上六十歳未満の日本国民で、厚生年金や共済組合などの加入者とその配偶者、国民年金以外の制度から年金を受けることのできる人とその配偶者、屋間の高校、大学の学生を除いたすべての人が、必ずはいらなければならぬものであり、このような人たちは、国民年金の保険料を納め、将来の老後の保障、不測の事故に対する生活の保障を国民年金の給付によって行なおうとするものです。

したがって、二十歳になった人たちは、厚生年金や共済組合に加入してない場合、屋間の大学や高校の学生でない場合は、すべて国民年金の被保険者とならなければならぬわけだ。

国民年金に加入する手続きは、

現住所の市町村に、国民年金被保険者の資格取得の届出をして行なうことになっていますが、手続きとして他に書類を必要とするわけではなく、面倒なものではありません。今までも、二十歳になって加入しなければならぬ人たちが、いまだに届出をしていない人も少なくありません。

年金といえは、まだまだ先のことと考えられがちで、年金の必要性についても自覚に乏しいことが原因と考えられるのですが、年金

加治木町の皆さま

ピアノンさん(米國)から

竜門司焼きの研究のため、家族同伴で四十年の八月から昨年の三月まで、町内の於里に滞在していたピアノンさんとその家族から、新納果図書館長のもとへ次のような、お礼の手紙がときました。

わたくしの知り合いになった加治木町の皆様、特に商店の皆様、竜門司の皆様、富田さんのご家族の皆様、加治木滞在中、いろいろお世話になりました。ありがとうございました。

加治木での楽しい思い出に、毎日ひたっています。わたくしのお会ひした、ご家族のかたがた皆すばらしく、子供たちもよく働き、行儀もたいへんすばらしかった。大学での生活が始まり、非常に

は、若いうちから少しづつ準備していくものであり、また、最近のような交通戦争を考えると、老後のことだけでなく、いつ、どういふ事故に遭遇するかもしれないしこのためには、障害年金や母子年金、遺児年金などの年金給付があるのですから、成人の日を機会に国民年金の必要性を自覚し、すすんで加入の手続きをとるようにならう。

忙しくなりました。わたくしは今一〇・〇九四人の学生に教えていますが、大学の仕事以外に私的な仕事もあり、毎日忙しい日々です。またわたくしは焼き物も作っており、その展示会を近くやる予定です。

わたくしは現在、松の盆栽を二七ほど持っています。わたくしの教えている大学生に竜門司での生活や生活様式を、写真をまじえて話すたいへん興味を示しております。

加治木町の人で、アメリカに行きたいかたがあれば、できる限りお手伝いいたします。終りに臨み、あらためて加治木町の人々へ感謝の意を表したいと思います。どうもありがとうございました。

加治木町の皆様へ
ピアノンの家族と
ピアノンより
(お詫び)この記事は昨年十一月新納図書館長から寄せられたものです。紙面の都合で掲載がおくれましたことをお詫びします。

錦江第三、中野両地区

優良納税地区に指定さる

近年、本町の納税組合は、数の上だけでなく、その活動においても、飛躍的に発展し、ほとんどの組合が一〇〇パーセントの優秀な納税成績を収めつつあります。

このことは、一朝一夕にもたらされたものでなく、町民の皆さんが、常に変わらぬご協力で、愛町の気持ちもたらした結果であり、わたしども、かねがね深く感謝申し上げます。

このように、各部落ごとの納税組合の成績を、地区の単位に検討しますと、地区は数個または、十数個の部落を包括するため、地区内が、いっせいに完納ということ、は、なかなか困難なようでありま

す。

しかし、先に錦江第三地区(新中、西之原、楠原、中福良、上木田)が優秀な成績であったので、優良納税地区として指定しました。これに続いて中野地区(中野長谷、楠原、弓削)が、地区内完納で、しかも過去の滞納も整理完納されたので、優良納税地区に指定することとしました。

香奠返しを寄附

社会福祉協議会へ

香典返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。

- 金額 御遺族 故人
- 五千円 新富町 今村 勲(父辰右衛門)
- 三千円 中 郷 畠中くみ子(夫勲)
- 五千円 西諏訪 柴田テイ(夫武)
- 二千円 蒲生町米丸 内村一夫(前畑ヨシ)
- 二千円 錦江町 神田太郎(父宣彦)
- 二千円 萩原 安藤敏郎(母久江)
- 二万円 新町 玉利泰宏(母マチ)

たばこ消費税は—
— 税込の23パーセント —

町税のなかに「たばこ消費税」と「電気ガス税」が含まれていることは、すでにご存じと思いますが、この二つの税は本町税収の約二三パーセントを占め、約一千五三一万円(昭和四十年年度決算額)が、町の財源として収入されております。

たばこ消費税は、町内で売りさばかれた、たばこの本数によって専売局側に課税されますので、たばこ消費税の増減は、たばこの売り上げ量に直接、左右される

- 桑迫 溝口時義(妻チカ) 二千元
- 上木田 穂森敬志(アサ) 二万円
- 毛上 中原チカ(夫茂) 二千元
- 茶碗屋 坂部久雄(妻文慧) 三千元
- 竹下 中摩暉也(父直治) 五千円
- 南汐入 徳田小吉(フヂエ) 五千円
- 川原ヒトエ(夫春季) 三千円
- 諏訪町 伊藤貞輝(父敬夫) 五千円
- 中 郷 東川内 肇(父茂義) 三千円
- 下新道 西 フヂ(夫六郎) 一万円
- 西諏訪 堀切 忠(父健蔵) 二千元
- 中 野 有村正弘(祖母アグイ) 二千元
- 蒲生田 原口志津(妹尾上キミ) 五千円
- 西汐入 長井利基(妻のぶ) 五千円

町育英資金へ

- 西諏訪 伊藤貞輝(父敬夫)

火の用心
火事は
119番へ

加治木町民憲章

1. わたしたち加治木町民は、心を豊かにして平和な町をつくりま
1. わたしたち加治木町民は、きまりを守って明るい町をつくりま
1. わたしたち加治木町民は、力をあわせて清潔な町をつくりま
1. わたしたち加治木町民は、元気で働き豊かな町をつくりま
1. わたしたち加治木町民は、楽しい家庭をつくり町のよい子を育てま

商工業者のための

火災共済のおすすめ

鹿児島県火災共済協同組合は、県内の商工業者が火災の損害から守るため、中小企業等協同組合法にもとずいて、設立された組合です。

県内の商工業者が、一般の損害保険会社に火災保険の契約をして支払う保険料は、年間約七億円にありますが、この七億円はすべて、県外の親会社に流れていきますが、この「県火災共済」に入りますと、この保険料は、すべて県内に残り、商工業者の店や工場の設備資金や商品購入その他の運転資金の融資にあてられることとなります。

元氣あふるる機敏な動作

消防出初式盛大におわる

恒例の町消防出初め式は、去る一月十一日加治木高校グラウンドで行なわれました。

国分自衛隊のラッパ隊を先頭に市中行進の後、午前十一時からいろいろの行事が、団員の元氣あふるる機敏な動作のもとに展開され、団員のたのしみさに観衆全員が拍手をおくりました。

本年こそは、火災予防に努力して、火災のない年で終わるよう決意を新たにしました。

すので、り(種)災の場合は支払いが早く、果がうしるだてになつて損失補償をしていますので、絶対に安全です。そのうえ営利を目的としていませんので、掛金(保険料)が非常に安くなっています。県、県中小企業団体中央会、それに県火災共済協同組合が中心となり、県下各商工団体の協力のもとに「県下中小企業者火災共済総加入運動」を実施中です。商工業者の方は、不慮の災害に備え、一人もれなく加入契約されるようおすすめてします。

なお、取り扱いは加治木商工会または始良信用組合加治木支店で行なっています。

当日の表彰式で表彰された方は次のとおりです。

- △始良支部長表彰 木場政昭、竹内敬一郎
- △町長表彰 吉村清美、中園茂、福崎藤男、樋口和年、日高鉄男、久木田虎二、中野次男、山下喜之
- △消防団長表彰 長谷正治、江口具、岩穴口治男、鶴春美、大宮路五男、上村正広
- △永年勤続者表彰

- 20年勤続向江利治、15年勤続蓬原春香、大吉操、竹下泰蔵、福元義治、佐藤慶紀、寺師幸男、安楽忠、桐原広志、立山良忠、是枝義輝、岩田辰二、大迫秀清、有馬清晴、大迫繁雄、10年勤続今村功、緒方美登、榎谷貞則、前村松美
- △感謝状 広森清蔵、森木繁、佐藤四郎、永吉武治、山元国義、吉元寛樹、福元末夫、浜村部落自治会、△町消防後援会連合会長表彰 端山自衛消防班、外園二男

一月から国民年金の

保険料があがります

国民年金の保険料は、昭和三十六年四月に保険料の徴収事務が開始されてから以来今まで、二〇〇〇三歳月額一〇〇〇円、三五〇六〇歳月額一五〇〇円でしたが、昭和四十二年一月から、老齢年金や障害年金などの年金額が大幅に引き上げられることになりましたので、保険料の額も、当然引き上げることが必要となり、昭和四十二年一月分の保険料から、

- 二〇〇三歳 月二〇〇円
- 三五〇六〇歳 月二五〇円

と、それぞれ従来の額から一〇〇円づつ引き上げられることになりました。

なお、今までに、六〇歳になるまでの間、あらかじめ保険料を改



教育委員会で早速送りましたがこのたび、当大学では非常に喜んでいただきお礼の手紙がとどきました。

拝啓

新春の候益々御壮健の事と存じております。さて、昨年暮れには大変勝手な依頼を申し上げ恐縮致しておりました。それにも拘らず当方の意をよく御理解下さいまして早速御立派な「加治木郷土誌」を御惠贈下さいまして誠に有難うございました。厚く御礼申し上げます。

年末年始の事とて何かと内外共に御多忙のところ心よく御協力下さいました事大変喜しく存じております。貴殿の御協力で依り外国にては得難い大変貴重な地方研究史料を当館に備え付ける事が出来関係研究者は申すに及ばず当方係員一同厚く御礼申し上げます。

貴殿の御厚意に報いるべく、この図書末永く当館の書架に保存致し広くそして一人でも多くの研究者、学者、学生等の為に役立てたく存じております。

書面にて失礼乍ら一筆贈本御礼申し上げます。昭和42年1月5日

ニューヨーク

東亜図書館

鹿児島県始良郡加治木町教育委員 員会

教育長 桑幡元長様

「郷土誌」ありがとう

ございました

コロンビア大学から

さきに町教育長宛に米国のコロンビア大学から加治木郷土誌を、アメリカにおける研究史料としたので、ぜひ購入したいから送ってほしい旨の手紙が寄せられ、町